

# タウン情報②②

## 北烏山寺町

世田谷区北烏山4丁目～6丁目は、大正12年の関東大震災やその後の区画整理で、浅草・築地・麻布・芝などから26ヶ寺が移転してきた寺院により、大正末から昭和初めにかけて寺院街が形成した寺町であり、さながら小京都を思わせる風情のある街並みを楽しむことが出来る所です。

なお、中央高速北側にある烏山寺町展示室で寺町の由来や見所を紹介しています。

岩通発行「久我山の歴史と北烏山寺町」より抜粋



現在の北烏山寺町の地図

## タウン情報②③

### 久我山稲荷神社

神田川北側にのびる崖線の斜面に久我山稲荷神社があるこの神社の別当であった光明寺が明治になって廃寺となった事をあり、創建の由来についてはよく分からない。

稲荷神社は元々秦氏のゆかりの神社である。秦氏一族は、京都の伏見稲荷神社の創始者であり、久我山の稲荷神社も秦氏が氏子となり、信仰の拠点となり、現在のような立派なものとなっていったと思われる。

当社の例祭日は、今日10月の第一土・日であるが、7月24日には夏祭りが行われ「湯の花神楽」を奉納している。この由来は、昔この地に疫病が流行した際、村人が大釜に湯を焚き、神学を奉納し祈願したところ、疫病が静まったという。

古事による杉並区内の神社では、当社だけの行事となりました。境内には、「人心同」の石碑、力石、絵馬などがあります。



図1. 4-8 久我山稲荷神社の力石  
(明治大正時代若者が力比べで競ったとき用いた力石)

岩通発行「久我山の歴史と北烏山寺町」より抜粋



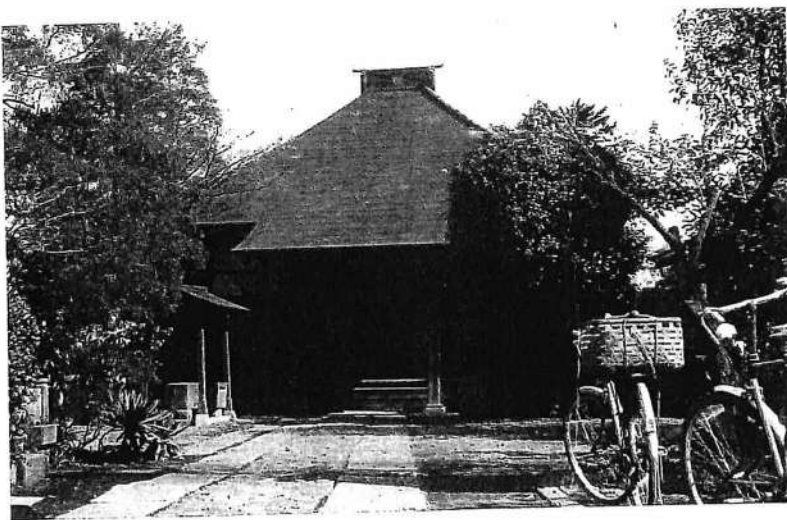
図1. 4-7 久我山稲荷神社

## タウン情報②④

### 井口山慈宏寺

寛文十三年(1673年)、大宮前新田を開発した名主・井口奎右衛門が、練馬区大泉妙福寺の慈宏院日賢上人を招いて開いたお寺です。松庵村に廃寺、円光寺の建物を移築して本堂にしました。後の昭和四十年に改築しました。

ご本堂は、木綿の僧衣をまとった旅姿なので、正式には、「光明木旅立の御影」と言い、一般には「荒布の祖師」と呼ばれ、毎年六月に更衣、十月に冬衣の衣替えが行われています。



宮前慈宏寺旧本堂（円光寺本堂を移築したもの）  
(本橋春吉氏提供)



荒布の祖師像（前島茂氏提供）